

パスタとスパゲッティの呼び名の区別

- パスタは、小麦粉を主原料とするさまざまな形状の麺類全般を指す総称です。イタリアには650種類以上のパスタが存在し、マカロニやペンネ、ラザニア、フェットチーネなどもすべて「パスタ」に含まれます^{[1] [2] [3]}。
- スパゲッティは、その中の一つの種類で、直径1.4~1.9mm程度・長さ25cm前後の円柱状ロングパスタを指します。つまり「スパゲッティ」は「パスタ」の一種です^{[1] [2] [3]}。

呼び名の使われ方と傾向

- かつては日本で「スパゲッティ」という呼び名が一般的でしたが、1990年代以降イタリア料理ブームの影響もあり、「パスタ」という総称が広く使われるようになりました^[2]。
- Googleトレンドなどのデータによると、2004年以降「パスタ」の検索ボリュームが年々増加し、「スパゲッティ」とは圧倒的な差がついています。現在では「パスタ」の方が多く使われていることが明らかです^[2]。

まとめ

- 「パスタ」は総称、「スパゲッティ」はその中の一種という明確な区別があります^{[1] [2] [3]}。
- 現在の日本では「パスタ」という呼び名の方が圧倒的に多く使われています^[2]。

森

イタリアでは？

イタリアでは、「パスタ」という言葉が麺類全般を指す総称として使われています。スパゲッティはその中の一種類であり、イタリア人は具体的な形状や種類を区別して呼び分けています。つまり、イタリア語では「pasta (パスタ)」が広い意味で使われ、「spaghetti (スパゲッティ)」はその中の細長い円柱状の麺を指す専門的な名称です。したがって、イタリアでも「パスタ」が一般的な総称として用いられ、スパゲッティはその一種として認識されています。

森

イタリアではスパゲッティを見て、何と呼ぶ？

イタリアでは、スパゲッティを指すときは基本的に「spaghetti (スパゲッティ)」と呼びます。ただし、イタリア語では「spaghetti」は単数形の「spaghetto (スパゲット)」の複数形であり、麺一本を指すことはほとんどありません。通常は複数形の「spaghetti」で扱います^{[4] [5]}。

また、スパゲッティは太さによって細かく呼び分けられており、以下のように分類されています。

- 直径1.9~2.0mm前後のものが「spaghetti (スパゲッティ)」

- それより太いものは「spaghettoni (スパゲットーニ)」や「vermicelli (ヴェルミチェッリ)」
- 細いものは「spaghettini (スパゲッティーニ)」「fedelini (フェデリーニ)」「capellini (カペッリーニ)」などと呼ばれます^{[6] [5]}。

したがって、イタリア人がスパゲッティを見て呼ぶ場合は、一般的に「spaghetti」と言い、太さによってはより具体的な名称を使い分けます^{[7] [5]}。

森

パスタと呼ぶのでは？

イタリアでは、スパゲッティを見て「spaghetti (スパゲッティ)」と呼びますが、これはパスタの一種としての名称です。イタリア語で「pasta (パスタ)」は小麦粉を練って作った食品全般を指す総称であり、スパゲッティはその中の細長い円柱状の代表的なロングパスタの一種です^{[8] [9] [10]}。

つまり、イタリア人はスパゲッティを単に「spaghetti」と呼び、より太いものは「spaghettoni」、細いものは「spaghettini」など太さによって細かく呼び分けていますが、一般的には「spaghetti」で通じます^{[8] [11] [12]}。

まとめると、イタリアではスパゲッティを見たら「spaghetti」と呼び、パスタという総称は形状や種類を問わず幅広く使われる言葉です^[8]。

森

日本人はスパゲッティを見て、パスタと呼ぶのでは？

日本人はスパゲッティを見て「パスタ」と呼ぶことが非常に多いです。これは「スパゲッティ」がパスタの一種であるにもかかわらず、パスタという言葉がより言いやすく、総称的に使われているためです^{[13] [14]}。

具体的には、

- 「パスタ」はイタリア語で麺類全般を指す総称ですが、日本では特にスパゲッティのようなロングパスタを指すことが多い。
- 「スパゲッティ」はパスタの中の細長い麺の一種であるにもかかわらず、日本では「スパゲッティ」と言うより「パスタ」と呼ぶ方が一般的になっている。
- これは言いやすさや日本人の曖昧さを許容する文化的背景も影響していると考えられる。
- 実際、多くの日本人が「スパゲッティ」と呼ぶより「パスタ」と言った方が通じやすいと感じている。

したがって、日本ではスパゲッティを見て「パスタ」と呼ぶのが普通であり、これは意味的には正確ではないものの、日常的に広く浸透している呼び方です^{[13] [14]}。

森

イタリアでは違うのか？

はい、イタリアでは日本のようにスパゲッティを見て「パスタ」とだけ呼ぶことはあまりありません。イタリアでは「pasta（パスタ）」は麺類全般の総称であり、具体的な形状や種類を区別して呼び分ける文化があります。

- スパゲッティのような細長い麺は「spaghetti（スパゲッティ）」と具体的に呼ばれます。
- 他の形状のパスタもそれぞれ固有の名前があり、単に「pasta」とだけ言うことは少なく、料理や会話の文脈で正確な種類名を使うのが一般的です。

つまり、イタリアでは「パスタ」は総称として使い、「スパゲッティ」はその一種を指す専門的な呼び名として明確に区別されています。このため、スパゲッティを見て単に「パスタ」と呼ぶ日本の感覚とは異なります。

✪

スパゲッティを見て単に「パスタ」と呼ぶのは、世界で日本だけか？

スパゲッティを見て単に「パスタ」と呼ぶのは、日本特有の傾向といえます。

- 海外では「pasta（パスタ）」は麺類全般の総称であり、具体的な形状や種類を区別して呼ぶのが一般的です。スパゲッティはその中の一種として「spaghetti（スパゲッティ）」と明確に呼ばれます^{[15] [16] [17]}。
- 英語圏でも「pasta」と「spaghetti」はどちらも通じますが、料理の種類や形状によって使い分けられます。例えば「spaghetti bolognese（スパゲッティ・ボロネーゼ）」のように具体的な名称で呼ぶことが多いです^[15]。
- 日本では「パスタ」という言葉が広く一般化し、スパゲッティのようなロングパスタを見て「パスタ」と呼ぶことが日常的に行われています。これは言いやすさや認識の違いによるもので、イタリアや英語圏に比べると「パスタ＝スパゲッティ」と捉える傾向が強いです^[18]。

したがって、スパゲッティを見て単に「パスタ」と呼ぶのは世界的には珍しく、日本独特の呼び方と考えられます。

✪

1. <https://www.pietro.co.jp/pietro-radio/shopping/sh1/>
2. https://hashizumen.shop/blogs/noodle-note/pasta_spaghetti
3. <https://prezo.jp/column/6143>
4. <https://terra-scuola.com/298/>
5. <https://ja.wikipedia.org/wiki/スパゲッティ>
6. <https://bicerin.co.jp/column/historyculture/899.html>
7. https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q12271909762
8. <https://prezo.jp/column/6143>
9. https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q12271909762

10. <https://ja.wikipedia.org/wiki/スパゲッティ>
11. <https://bicerin.co.jp/column/historyculture/899.html>
12. <https://nama-pasta.com/media/2670/>
13. <https://jpneet.com/language/pasta-spaghetti/>
14. https://livejapan.com/ja/in-tokyo/in-pref-tokyo/in-tokyo_train_station/article-a0003441/
15. <https://www.rarejob.com/englishlab/column/20181102/>
16. <https://ja.wikipedia.org/wiki/スパゲッティ>
17. <https://ja.wikipedia.org/wiki/パスタ>
18. <https://gex.ne.jp/gg/archives/3721>